

とろろ通信

2016年12月5日

お久しぶりです、皆さん！というスタッフ

の川瀬です。今月もという通信、行ってみたいと思います。その、始めまじゅう！

この文章を書き始めたのは11月の半ば過ぎなんですけど、原稿が皆さんのお手元に向くのは師走もまったただ中。いやー、一年の終わりが早いんですね。そんな微妙に年寄くさい話は置いておいて、まずはこの方向に行っていたいと思います。実はというとは直接関係は無いのですが、この方向です(またこのパターンへかまーというツツコミシには「めんざい」です)。



そう、巷で噂の特撮映画「**シン・ゴジラ**」です！先月の13日に一人で観に行ってきた。さすがに上映期間が長かったせ

いか、観客はまばらでしたが、夫婦連れの方などが客席にいました。実は今回この映画はパスしようと思っていたのですが、もう一人の木曜というスタッフの清遠君が「観てきました」という話をしてくれたいので段々外堀が埋まって行きました。

一番大きかったのは、(某ツツコミ派の)最初のガンタムの監督の好意的なコメントを知ったことと、そのことがテロになり思い切った鑑賞したのでした。という通信という場を皆さんに与えて頂いて頂いてきたことなんですけど、結局「表現」って、私的なものを公的な場に持ち込むっていう矛盾・危うさとの闘いじゃないですか？某作品の描写・手法について私的過ぎることで叩かれた庵野監督がこれだけ限られた持ち駒(教養?)でこのまでの内容を作り上げたのであれば、そのことは評価されてもいいんじゃないか、くらいのこととは時間が少し経った今、思います。元々危険が伴う作り方ではあると感じるので、少なくとも最近制作されたハリウッド版には勝っていると思います。実写映像のプロ・専門家でないのでここは天晴れですね。うーん、動機の質が決め手でしょうか？自分の感想はそんな感じです。



話は変わりますが、11月23日、坂

本会長と高知の当事者のS.Oさん、富山(一)出身のM.Sさんと同行して香川県に向かいました。グローバル・シックスこうべの森下徹氏の企画した小豆島来訪イベントへの参加のためです。当日の香川は曇り空、高松港からフェリーで小豆島・土庄港に向かい、まず「懸放塾」を見学させて頂きました。演劇の手法を用いた不登校・ひきこもり当事者の支援を行っているという、パンフレットに「逃げていい」と書かれていたのですが、木戸代表の態度・説明は下真剣でした。その確信に満ちた眼差しが印象的でした。そして寒霞溪観光の後、フェリー内で集まりを持ち、解散。正直、もっと皆と話したかった！高知に居るとなかなか会えない人も参加していたので、こういう場は貴重な機会だと思いました。

ところで今月、というに新たな参加者が二人来ました！一人は高知の島田誠さん、もう一人は先ほと言及した富山のM.

Sさんです！(今気付いたのですが、インシヤルが同じですね。ちなみにアルファベットの綴りは名前・苗字の順になっております)。清遠くんや会長と居場所のマンネリ化問題について話し合い、テロ入れの必要を感じていた矢先だったので、うれしさひとおでした。ありがとうございます！またのご来所をお待ちしております！

〈それではまた来月！〉

居場所という「の駐車場は」という「から電車通りに向けて100メートルくらいにある広い空き地です。15台位は止められます。駐車場の入り口には慶光ハウス(不動産)の看板があります。

「という」の所在地は

〒781-5102

高知市大津甲969-3

電話 088-821-6519

メールアドレス

qqvy3df9k@ globe.ocn.ne.jp

または

skatoiro1016@gmail.com

お便りを待ってます。
相談メールともだちメール・お尋ねメールなんでもOKです。